



2019年 8月 5日

各 位

会 社 名：株式会社ゼンショーホールディングス
代表者名：代表取締役会長兼社長兼CEO 小川 賢太郎
(コード番号 7550 東証第1部)
問合せ先：執行役員 グループ経本部長 丹羽 清彦
(TEL：03-6833-1600)

当社連結子会社における業績予想の修正に関するお知らせ

当社連結子会社である株式会社ココスジャパン（コード番号 9943 JASDAQ）は、2019年5月13日に公表いたしました2020年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想を添付資料の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

なお、本件が2020年3月期の当社連結業績に与える影響は軽微です。

以 上



2019年8月5日

各位

会社名：株式会社 ココスジャパン
代表者名：代表取締役社長 小野崎 聡
(コード番号 9943 JASDAQ)
問合せ先：経営企画室ゼネラルマネジャー
額川 幸夫 (TEL：03-6833-8000)

業績予想の修正に関するお知らせ

2019年5月13日に公表いたしました2020年3月期第2四半期累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)、及び通期(2019年4月1日～2020年3月31日)の業績予想の修正につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期第2四半期累計期間業績予想の修正

(1) 第2四半期累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日) (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	29,241	373	400	133	7.89円
今回修正予想(B)	27,179	△114	△70	△357	△22.05円
増減額(B-A)	△2,062	△487	△470	△490	—
増減率	△7.1%	—	—	—	—
(ご参考) 前年同期実績 (2019年3月期第2四半期)	28,834	599	650	285	16.85円

(2) 修正の理由

売上高につきましては、4月のグランドメニューの改訂、店舗オペレーションの単純化等を行い、お客様のご来店増による売上確保に努めてまいりましたが、当第1四半期累計期間の既存店売上高前年比94.6%に加え、7月の天候不順の影響などから、上半期の既存店売上高前年比が計画100.4%に対し、予測93.1%と計画値を7.3ポイント下回ることから、前回予想を下回る見込みです。

営業利益・経常利益につきましては、既存店売上高の計画未達に加え、メニュー改訂により原価率が0.2ポイント、アルバイト時給単価の上昇により人件費率が0.2ポイント計画値を上回ることなどから、前回予想を下回る見込みです。また、四半期純利益につきましては、経常利益の未達に加え、2020年3月期第1四半期において不採算店舗の減損損失228百万円を計上したことから、前回予想を下回る見込みです。

2. 2020年3月期通期業績予想の修正

(1) 通期 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	57,807	805	864	285	16.84円
今回修正予想(B)	55,627	124	225	△278	△17.32円
増減額(B-A)	△2,180	△681	△639	△563	—
増減率	△3.8%	△84.6%	△74.0%	—	—
(ご参考) 前年同期実績 (2019年3月期)	57,438	798	911	287	16.93円

(2) 修正の理由

売上高につきましては、上半期の売上高計画未達に加え、下半期におきましては、メニュー改訂や販促プロモーション強化による売上高の改善に努めるものの、下半期の既存店売上高前年比が計画100.3%に対し、予測99.8%と計画値を0.5ポイント下回る見込みなどから、前回予想を下回る見込みです。

利益面につきましては、上半期の利益高計画未達に加え、下半期の既存店売上高の計画未達や、メニュー改訂により下半期原価率が計画値を0.4ポイント上回ることなどから、前回予想を下回る見込みです。

なお、上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて算出しており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上